

主催：公益財団法人オイスカ
共催：オイスカ国際活動促進
国会議員連盟
オイスカ・インターナショナル

とき
10月1日(火)
ところ
衆議院第一議員会館

第一部
パネルディスカッション
14:00-16:00
(受付開始13:30-)

第二部
レセプション
16:15-18:00

「国際協力の日のつどい」
シンポジウム

ECO-DRR(生態系を活用した防災減災)を軸とした
オイスカの新たな展開

オイスカのマングローブ造林実績は
8,097haにおよび、民間団体としては世界一で
す。フィリピン中部を襲った史上最強台風「ハイ
エン(2013年)」、タイ南部ラノン県を襲ったインド
洋大津波(2004年)でマングローブが減災効果を発揮。
海外での植林事業で培った行政との協働・住民参画・雇
用創出・生活向上という基本的考え方を活かし、「海岸
林再生プロジェクト(2011-2020)」を実施。今後は、
津波襲来、強風、乾燥、重塩害地での森づくりの経験を
応用し、防災減災効果を発揮できる森づくりをアジア
各国で強化する計画です。
森づくりを統括する各国担当者からレポート
します。

お申し込み・お問い合わせ先

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-5

TEL (03)3322-5161 FAX(03)3324-7111 E-mail : tokyo@oisca.org

公益財団法人オイスカ 啓発普及部

Eco-DRRとは？

健全な生態系には、様々な防災・減災の機能が備わっています。たとえば、健全な森林は土砂崩れを抑制することが知られています。また、海岸の砂浜やサンゴ礁は波のエネルギーを和らげます。海岸のマングローブ林や海岸防災林は、高潮や津波の被害を軽減することが知られています。このように直接的に災害のもととなるハザードの発生を抑制したり、そのインパクトを和らげるという役割が生態系には備わっています。生態系を基盤とした防災・減災はEco-DRRと呼ばれ、2004年に発生したインド洋津波以降、国際的に注目されるようになってきています。

近年、気候変動の影響で気象や水に関係する災害が増加することが予想される中、従来の工学的なアプローチだけではなく、Eco-DRRのアプローチを取り入れる事例が、先進国でも途上国でも増えてきています。

内容

【第一部】14:00-16:00 (大会議室)

各国オイスカのEco-DRR事例発表 等

- (1) **海面上昇や高波から人々の暮らしを守るマングローブ**
-インドネシア マングローブ植林事業担当責任者
プリハルタント・ラフマット氏-
- (2) **黄砂を食い止める砂漠緑化**
-オイスカアラ善砂漠生態研究研修センター
所長 富樫智氏-
- (3) **「水無村」の水源地再生を目指し山火事・台風・干害と戦う**
-フィリピン ニエバビスカヤ植林プロジェクト
代表 マリオ・ロペス氏-

【第二部】16:15-18:00 (多目的ホール)

レセプション

会費

1万円

(会費の一部を東日本震災復興「海岸林再生プロジェクト」支援及び、国際協力活動支援とさせていただきます)

【振込先】 (※本会費は負担金となり、税控除の対象にはなりません)

銀行名：三菱UFJ銀行 (0005)
支店名：永福町支店 (347)
口座番号：普通0016242
口座名義：公益財団法人オイスカ

※本会費は、一旦お振込みいただき不参加の場合でもご返金できませんので予めご了承ください。

会場

衆議院第一議員会館 (東京都千代田区永田町2-2-1)



衆議院第一議員会館 入口

丸の内線 千代田線
国会議事堂前 1番出口

申込方法



FAXの場合

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください



E-mailの場合

タイトルに「10/1国際協力の日つどい申込み」と記入し「参加申込書」の必要事項をお書きの上、こちらのアドレスまで
tokyo@oisca.org

申込締切：9月24日(火)まで

10月1日「国際協力の日のつどい」参加申込書(兼 入館通行証引換書)

第一部(大会議室)	14:00~16:00	()ご出席	()ご欠席
第二部(多目的ホール)	16:15~18:00	()ご出席	()ご欠席
御所属	御芳名		
御住所 〒	電話番号		

*複数名での参加希望の場合は、参加者全員のお名前をご記入ください



お申し込み先:公益財団法人オイスカ 啓発普及部

FAX.03-3324-7111

